

完走より完食を目指せ！東北風土マラソンの目玉 『ランメシ！東北風土(Tohoku FOOD)』20品目が決定！

2014年に復興支援を目的にスタートした宮城県登米市で開催されている『東北風土マラソン&フェスティバル』が、今年も3月に開催される。本イベントの目玉は、2*₀ごとに設置されたエイドステーション(給水所)で提供される東北のご当地フードだ。2016年、復興庁「新しい東北」情報通信事業の事業者として一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバルが選定された。スポーツイベントを通じて、東北の生産者と全国の消費者を直接つなぎ、その魅力を全国に発信し、地方に戻すことで東北の活動人口増加を促す狙いだ。これまで、『東北風土マラソン』のエイドステーションにて過去3回合計10万食以上をランナーに提供してきた経験やノウハウを活かし、『ランメシ！東北風土(Tohoku FOOD)』として、全国各地のマラソン大会、スポーツイベントにて提供してきた。また、「栄養・機能性」「安全性」「美味しさ」の観点からランナーにとって適した補給食を公募し、食のプロやマラソンのプロによる第三者の厳しい目で選定するという初の取組みもおこなわれた。そしてこの度、公募から選定された5品目を含む、計20品目が『ランメシ！東北風土(Tohoku FOOD)』として決定した。選考委員であり管理栄養士の鶴田麻里子氏は「東北の美味しさと、栄養が詰まったランメシ！を選びました。走る楽しさを一層盛り上げるとともに、良いコンディションを持続させてくれる事を期待しています」と語った。公募を経て選定された「くりはらを地元こしようプロジェクト」代表の伊藤秀太(いとう・しゅうた)氏は、「炭水化物はランナーにとって欠かせない補給食です。江戸時代から受け継がれる栗原のお餅の美味しさを知ってもらいたい」と意気込んだ。20品目は下記の通り。

『ランメシ！東北風土(Tohoku FOOD)』HP : <http://tohokumarathon.com/runmeshi/>

【ランメシ！東北風土(Tohoku FOOD)】※

くりはら一口もち(宮城県栗原市) くりはらを地元こしようプロジェクト	伊豆沼産ブルーベリーチーズケーキ(宮城県仙台市) (株)yuzuki
希望ののむヨーグルト(宮城県気仙沼市) (株)気仙沼フェニックス	黒蜜ハーブロール(宮城県南三陸町) (株)パティスリークリコ
ピーツのベルベットケーキ(宮城県石巻市) (株)アルコバレーノファーム	AKAMOKU(あかもく)(宮城県塩竈市)(株)シーヌーズあかま
金のさんま(宮城県気仙沼市) (株)斎吉商店	ふかひれ濃縮スープ(宮城県気仙沼市) 気仙沼までい(株)
はっと汁(宮城県登米市) マルニ食品(株)	登米産牛サイコロステーキ(宮城県登米市) (株)佐利
特製笹かまぼこ(宮城県南三陸町) (株)及善商店	あらびきウィンナー(宮城県登米市) (有)伊豆沼農産
初恋さくら(宮城県登米市) (有)伊豆沼農産	おかず味噌(宮城県登米市) ヤマカノ醸造(株)
いぶりがっこ(秋田県大仙市) (有)奥州食品	最上の早生そば(山形県最上町) 最上町観光協会
山ぶどうゼリー(岩手県久慈市) (有)竹屋製菓	ほんのりピーチ(福島県福島市) (株)ももがある
エゴマチョコレート(福島県白河市) (株)しらかわ五葉倶楽部	わかめ餃子(宮城県石巻市) (株)リアス

※()は生産地です。提供の順番などは未定です。

【「新しい東北」情報発信事業とは】 <http://www.newtohoku.org/promotion/>

復興庁では、被災三県を含む東北地方の各地域において、各々の課題を解決し、自律的で持続的な地域社会を目指す取組を「新しい東北」と呼んでいます。これら、東北を牽引する先導的な取組を行っている民間等と共同(コラボ)して、「新しい東北」の魅力や、風化の防止や風評の被害の払拭に向け、民間等のネットワークを活用し、被災地や復興に関心が高い人だけでなく、広く全国に発信することにより広かつ持続的な復興の輪の拡大を図ることを目的とした事業です。

